

郵便
報知新聞
第百八十八号

長崎縣下長与村ハ山中辺鄙の所
 近來毎夜奇声を発シ女
 子供を誑シ或ハ田畑を踏荒ハ杯
 する者ありはれば若者共談合の如
 或夜篠簪ヲ多シテ伺ハシ時刻ヲ
 以テ二老狐月ヲ乗リテ踊ラシム
 ソレと一度に起リ立連取り込メ
 ばのこ連取り一が終ヲ取ル
 乃月ハ翌日村中惣カウシテ山中
 侍登リ其洞を見出シ多ク獲
 物トシ提テその周囲ヲ守リ正
 共追出シ生擒シテ行殺シ
 味噌汁ハシテ喰フヲ禁メクモ或
 老人の説ニ從ヒ立牌一ト鼻首
 の刑ニ行ハ近頃愉快の事多シ

